

科目名	ProTools 3							年度	2025
英語科目名	ProTools Training 3							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	吉田光宏		教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・作曲曲家	
【科目の目的】									
ProToolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格であるAvid ProTools201の取得を必須とする(この ためには ProTools1&2において101と110を取得している必要がある)。日本ではこの講座を受講し資格試験を受験できる学校は日本工学院専門 学校と日本工学院八王子専門学校のみである。両校においてはAvidに認定を受けた認定講師によって講義が行われ、学生全員がそ のスキルを身につける。									
【科目の概要】									
Avidの提供するAvid201テキストをもとに授業を行い。営業スタジオ等、プロユースな現場に設置されているハイクラスなProToolsを学 ぶ。Avid201テキストのスキルを習得後、Avid201認定試験を受験し、大変高度な資格試験にはなるが全員合格を目指す。									
【到達目標】									
スタジオに設置されているハイクラスの ProToolsのプロツールの設置及び設定ができるようになる。ショートカットや様々なプリセットなど を使いこなす事によりスピード感のある作業を習得する。プロの作業らしい綺麗で無駄のない作業環境の設置及び設定ができ、またセッ ションにおいても綺麗で効率の良いセッションを構築できるようになる。									
【授業の注意点】									
必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業 中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事(それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます)。パソコンが得意にな れるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	Avid製のハードウエ アーをよく理解し設 定をする事ができる	Avid製のハードウエ アーの設定をしてみ た事がある	Avid製のハードウエ アーはよく知ってい る	Avid製のハードウエ アーは分かるけど用 途が分からない	Avid製のハードウエ アーが分からない				
到達目標 B	Voiceを完全に理解 し優先順位も理解し 節約することもでき る	Voiceを理解しどの 様に作用するか分か る	Voiceというのは発 音のことであるとい う事は覚えている	何となくVoiceとい う名前は聞いた様な 気がする	Voiceの事を聞いた ことが無い				
到達目標 C	コピーを保存でオー ディオファイルの フォーマットを変更 している	コピーを保存でデー タ量をコンパクトに したりしている	上書き保存と別名で 保存とコピーを保存 を使っている	上書き保存と別名で 保存を使っている	上書き保存しか使わ ない				
到達目標 D	バウンスとフリーズ とコミットを使い分 けている	バウンスとフリーズ 機能を使用している	ディスクにバウンス とトラックバウンス を使っている	ディスクにバウンス だけは分かる	ディスクにバウンス を聞いたことが無い				
到達目標 E	様々なメモリーした ことをテンキーで呼 び出して効率よく使 用している	メモリーローケー ションを理解し様々 なことをメモリーして いる	メモリーローケー ションのマーカー以外 の機能も理解している	メモリーローケー ションはマーカーだけ使 う	メモリーローケー ションの使用方法を忘れ た				
【教科書】									
Avid認定のProTools201テキスト									
【参考資料】									

授業内で配るPDFファイル							
【成績の評価方法・評価基準】							
レポート提出・課題提出・授業内課題、期末試験など。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ProTools 3				年度	2025
英語表記		Pro Tools Training 3				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル		評価方法 自己評価
1	Avid201の解説	Avid201テキストを理解する		テキスト201の概要	ハイクラスなプロツールのテキストであるという事		
				201で大切な事	201で身につけるスキルのを理解する		
				201試験について	Avid201試験で出るショートカット等の説明		
2	クロック	デジタルに必要なクロックについての理解		クロックが必要な理由	なぜクロックというものが必要か理解する		
				クロックの設定	クロックの設定方法を理解する		
				トラブルの解決	クロックによるトラブルが解決できるようになる		
3	スクロール	様々なスクロールについて理解する		スクロールの選択	どの様にしてスクロールを選択するか覚える		
				スクロールの種類	それぞれのスクロールがどの様なものか理解する		
				それぞれの使用用途	どの様な状況でどのスクロールを使用するか理解する		
4	保存方法	3つある保存方法を理解する		上書き保存	上書き保存を理解する		
				別名で保存	別名で保存の使用状況と使用状況を理解する		
				コピーを保存	コピーを保存は多くの使用用途があることの理解		
5	ワークスペースブラウザー	ワークスペースブラウザーの使い方を理解する		ロケーションの理解	ワークスペースブラウザーのロケションを理解する		
				インポート出来るもの	何がインポート出来るか理解する		
				タグの使用	ワークスペースブラウザーによるファイルのタグ付け		
6	Voice	Voiceについて理解する		Voiceとは何か	ProToolsにおけるVoiceとは何かを理解する		
				Voiceの発生理由	なぜVoiceが発生するのかを理解する		
				Voiceの節約方法	Voiceの優先順位や節約方法などを覚える		
7	メモリーロケーション	マーカー以外のメモリーロケーションを覚える		時間の概念	複数ある時間の記録方法を理解する		
				種類	どの様なものがメモリーできるか理解する		
				ウィンドウ構成	ウィンドウ構成と組み合わせてメモリーする方法		
8	編集ツール拡張	編集ツールの拡張機能を覚える		拡張機能の出し方	どの様にして編集ツールの機能拡張を出すか覚える		
				機能拡張の種類	どの様な種類の機能拡張があるかを理解する		
				機能拡張の使用用途	どうの様な時にその機能拡張を使用するか理解		
9	マルチプルアウトプット	マルチプルアウトプットを使用できる様になる		使用できる場所	どの場所でマルチプアウトプットを使用できるか覚える		
				設定方法	どの様にしてマルチプルアウトプットを設定するか覚える		
				使用用途	どの様な時にマルチプアウトプットを使うか理解する		
10	オートメーション	オートメーションの高度な使い方		Auto Join	オートジョインによる書き込みをできる様になる		
				フェーダ位置に書き込	現在のフェーダー位置に書き込みを使用できる		
				プレビューモード	プレビューモードを理解し使用できる様になる		
11	クリップゲイン	クリップゲインを使用できる様になる		ショートカット	使用するためのいくつかのショートカットを覚える		
				ラインと情報	クリップゲインラインと情報を使用できる		
				クリップゲインのナッジ	クリップゲインをナッジし編集スピードを高める		
12	ストリップサイレンス	ストリップサイレンスを使用できる様になる		概要	ストリップサイレンスとはどの様な機能が理解する		
				使用方法	ストリップサイレンスをどの様な方法で使用するか		
				使用用途	ストリップサイレンスをどの様な時に使用するか		

13	トラック複製機能	トラック複製機能を理解する	表示方法	どのようにしてトラック複製機能を表示させるかを学ぶ	
			使用方法	トラック複製機能の使用方法を覚える	
			使用用途	使用すると便利な状況を理解する	
14	ソロモード	ソロモードを理解し使い分ける	ラッチ、XOR、一時的	ラッチ、XOR、一時的を理解し使用できる	
			SIP、AFL、PFL	SIP、AFL、PFLについて理解する	
			使い分け	それぞれのソロモードを用途に応じて使い分ける	
15	201試験	201試験の方法を理解し受験に備える	アカウントの確認	アカウントやパスワードを確認する	
			試験への入り方	201試験の入り方を復習する。	
			受験方法	受験時の解答方法や採点方法を復習する。	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					